

別紙様式 2 (シラバス見本)

授業科目名	論理・表現入門	大学名	作新学院大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期 (9月19日～1月28日)
学部・学科等	人間文化・発達教育	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限 (時間)	未定
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	作新学院大学
担当教員名	玉城 要		
電話番号(代表者名)	028-667-7111	e-mail アドレス	
オフィスアワー	授業終了時に面談の予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;          日本語の「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」という技能を支える「論理的思考力」を意識し、向上させるのがこの授業の目標である。日本語を用いて、内面的・主観的なことがらを外面的・客観的なことがらに置き換えてとらえられ、つたえられる手段や形式を学ぶ。          まず、単語レベルから、短文レベルの表現を中心に扱う。さらにことばのつながり、抽象と具体、対比、因果関係、接続、指示語などについて学習する。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;          このシラバスの内容を読んで理解できるのであれば、特に準備すべきことがらはありません。</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;          授業の進め方についての基本型は以下の通り。          ア：授業者（玉城）は、時間割上の授業時間中にノートパソコンを携帯して教室に常駐し、インターネットへの接続を維持する。          イ：学生は、インターネットに接続し、WebClass 上の資料に基づき学習を進め、指定された期限までに「課題」を提出する。          ウ：ア、イの活動を以って、一回の授業における学習は「完了」とする。</p> <p>&lt;授業計画&gt;          第1週 ガイダンス 国語基礎力チェック          第2週 主観と客観          第3週 主語と述語          第4週 ことばのつながり          第5週 ことばの並べかえ 一文を作る①          第6週 ことばの並べかえ 一文を作る② 助詞          第7週 論理的思考力とは          第8週 抽象・具体① 言い換え 「つまり」⇔「たとえば」          第9週 抽象・具体② 言い換え 「つまり」→「つまり」          第10週 対比① くらべる 「それに対して」と「一方」          第11週 対比② くらべる 対義語          第12週 因果関係① たどっていく 「だから」          第13週 因果関係② たどっていく 「なぜなら」          第14週 接続と指示語 「それ」ってどれ？          第15週 文を分かりやすくする 結論は先か後か 逆接の連続 読みやすい語順</p> <p>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;          教科書は使用しない。PowerPoint で作製したスライド資料の pdf ファイル（音声、動画は含まない。話ことばを意識した文字主体の資料とする）を提示する。必要に応じて Word で作製した資料の pdf ファイルを提示する。</p> <p>&lt;成績評価法&gt;          秀：毎回の授業時に示される内容確認課題をすべて期限内に提出し、その解答が正確でほぼ不備がなく、かつ自身の見解や、調べたことがらなどが追記されている場合。          優：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に 8 割以上提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。          良：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に 7 割以上 8 割未満で提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。          可：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に 6 割以上 7 割未満提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。          不可：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に 4 割以上 6 割未満の提出しかなくない場合。          無資格：上記、いずれにも該当しない場合。</p> <p>&lt;教員からのメッセージ&gt;</p>		